

**令和4年度（2022年度）第3回地域医療専門委員会（書面開催）結果**

○協議事項1 令和3年度北海道地域医療介護総合確保基金事業（医療分）の事後評価について

**回答数** 26名    **回答** 承認：26名    未承認：0名

（提出された意見）

資料	ページ	意見の内容	対応等
3	1	北海道の状況を考えると、ネットワーク構築や遠隔医療促進が他都府県よりは最優先の課題と考えます。	北海道の限られた医療資源を有効に活用し、効率的で良質な医療サービスの提供、医療提供体制の充実を図るため、引き続き、医療介護総合確保基金による補助事業の積極的な活用を周知し、ICTを活用したネットワーク構築や遠隔医療を促進してまいります。
3	5	地域医療構想は、将来の構想区域のあるべき姿を調整会議の議長を中心に自主的に結論をまとめるもので、病床数については合意を得ながら自然に収束するものと理解している。本資料の事業の有効性及び効率性および課題の記載では、病床削減が前提かのような誤解を招きかねないので、地域医療構想の本来のあり方に即した記述に改めることを要望する。	<p>ご指摘を踏まえ、資料3の5ページの該当欄を次のとおり修正いたします。</p> <p><b>【有効性・効率性】</b>            (旧) 外来医療や在宅医療等を強化するため、病床を削減することで、効率的な医療提供体制が確保されるなど、地域医療構想の推進につながり、病床削減により、医療機関は減少分の入院収益が減少するが、財政支援があることにより、地域医療構想実現のために病床を削減するという判断につながった。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>(新) 質が高く効率的な医療提供体制を確保するため、人口減少に伴う入院患者数の減少も踏まえて、地域の合意を得ながら地域医療構想に即した病床機能の再編等の実施につながった。</p> <p><b>【課題】</b>            (旧) コロナ禍により、今後の新興感染症に備え、当初計画していた</p>

資料	ページ	意見の内容	対応等
			医療機関において、病床削減計画を保留するなど、予定していた病床削減に至らなかった。 ↓ (新) コロナ禍により、今後の新興感染症に備え、当初計画していた医療機関において、病床再編計画を保留するなど、予定していた病床再編に至らなかった。
3	16	(アウトカム指標) 地方病院の薬剤師は、充足していないことを考慮すると引き続き積極的な支援が必要と考えます。	本事業による支援を今後も積極的に続けていきたいと考えております。

## ○協議事項 2 医療介護総合確保促進法に基づく「令和4年度北海道計画」(案) について

回答数 26名 回答 承認：26名 未承認：0名

(提出された意見)

資料	ページ	意見の内容	対応等
		2次医療圏の設定については、少々お時間を頂きたい。	二次医療圏については、適宜、国の検討状況や受療動向など検討に必要な情報を提供してまいります。引き続き、本委員会により協議してまいります。
4-3	8 ~ 10	根室がすべての面で最下位なのが気になります。	ご指摘のとおり、根室圏域においては、各種指標が他圏域に比べて低い状況にあります。引き続き、医療計画等に基づく各施策を通じて、良質かつ適切な医療を効率的かつ継続的に提供する体制を確立できるよう、取組を進めてまいります。
4-3	19	在宅医療において24時間体制の訪問看護ステーションがない2つの医療圏の対応を進めないと、在宅看取りの実施の目標値も達成できない。	24時間体制の訪問看護ステーションがない2圏域(南檜山、北空知)について、直近の調査結果では北空知圏域に整備され、残る南檜山圏域について要因を分析するなど対応を進めてまいります。

資料	ページ	意見の内容	対応等
	65	「認定看護師等育成事業」のアウトプット指標に、特定行為研修修了者の目標人数を圏域毎に設定したほうがよい。	特定行為研修修了者は、在宅医療の担い手として今後ますます需要の高まる看護職であり、国の第8次医療計画においても、確保育成に関する指標について検討されているところです。 道としては、御意見も踏まえながら、次回医療計画の指標と合わせ、目標値の設定について検討してまいります。
	70	「地域看護人材育成事業」：高校生を中心に実施されている事業だが、中学生等にも拡げ早い時期から看護に関心が持てる機会を積極的に増やす。	令和4年度は、高校生や社会人を対象に事業を実施する予定であり、その実施評価に基づき、中学生等への対象の拡大について、検討してまいります。
4-3	22～30	今後は患者の受療動向に応じた2次医療圏の検討も必要と考えます。	二次医療圏については、適宜、国の検討状況や受療動向など検討に必要な情報を提供してまいります。引き続き、本委員会により協議してまいります。
4-1 4-3		過年度の執行残について、令和4年度での事業実施が計画されていないものが散見されますが、今後の執行についてどのように予定されているのでしょうか。 【例】事業区分Ⅰ-1 3「遠隔医療促進事業」 ⇒R4 予算額 29,638 千円に対し、計画の総事業費 11,622 千円 事業区分Ⅱ 8「在宅医療提供体制強化事業」 ⇒R4 予算額 220,933 千円に対し、計画の総事業費 154,350 千円 など ※事業の番号は資料4-1でのものです。	過年度の執行残は、資料4-1のとおり、R4 予算額に充当しており、R4 予算額になお不足する分を R4 に新たに積み立てる必要があるものとして、資料4-3 事業計画を作成し、国に申請することとなっております。(資料4-1の「C欄」に予算額が記載されている事業が、資料4-3 事業計画に記載が必要な事業となります。) なお、事業計画における「総事業費」については、R4 に新たに積立が必要な額とそれに対する事業者負担を含めて記載することとなり、R4 予算額と計画の総事業費は不一致となります。 別添イメージを作成しておりますので、ご参考としていただきますようお願いいたします。
4-3	45	在宅医との ICT ネットワークの促進の一環として、訪問看護ステーションへのポータブルエコー導入を支援する予算をつけていただきたい。特に遠隔地の訪問看護ステーションでの導入を支援が必要と考える。	訪問診療を実施する医療機関との連携により、検査情報の共有が必要になる訪問看護ステーションについては、ポータブルエコーをはじめとする医療機器について、導入の支援をすることについて検討してまいります。
	47	医療的ケア児を受け入れられる訪問看護事業所一覧名簿を作り、医師、ソーシャルワーカー、保護者に配布し、在宅での支援に繋げていただきたい。	医療的ケア児に対応可能な訪問看護事業所一覧については、アンケート調査を実施し、一覧表を公表することについて検討してまいります。

資料	ページ	意見の内容	対応等
	69	地域応援ナースの派遣先に訪問看護事業所を加えていただきたい。地域(過疎地等)の訪問看護ステーションに1年間の期間を目途とし、支援いただきたい。(特に空知圏域、日高圏域、留萌圏域)	広域分散型の本道においては、地方における訪問看護師の確保が喫緊の課題であることから、御意見も踏まえ、今後、当事業の派遣先について検討してまいります。

### ○協議事項3 北海道医療計画(平成30年度～令和5年度)の推進状況及び評価等について

回答数 26名 回答 承認:26名 未承認:0名

(提出された意見)

資料	ページ	意見の内容	対応等
5	41	課題のところで歯科衛生士の地域偏在に関する記述があるがそれに対する今後の取り組みが何も書かれていない。歯科衛生士は2次医療圏ごとにみると半数以上で人口10万人当たりの数が全国平均を下回っており地方における歯科衛生士の確保が喫緊の課題となっている。特に根釧地区での歯科衛生士不足は深刻なものがある。釧路歯科医師会での歯科衛生士専門学校分校の設立に強力な支援をお願いしたい。	<p>ご指摘を踏まえ、資料5のP41を次のとおり修正いたします。また、道内の多くの養成校では定員を満たしていない状況を踏まえつつ、個別の案件に適切に対応してまいります。</p> <p><b>【今後の取組方針】</b></p> <p>(旧)道内における歯科医師養成大学等と連携しながら、引き続き歯科医師の確保が困難な離島における歯科医療の確保に努めるとともに、へき地等に対する安定的な歯科保健医療の提供体制の構築に向けた検討を行います。</p> <p>地域における歯科保健医療が確保するため、限られた医療資源を最大限活用出来るよう、歯科衛生士の知識・技術の向上に努めます。</p> <p>歯科保健・医療の質の向上を図るため、関係団体と連携を図りながら、歯科医療従事者の資質向上の取組を推進します。</p>

資料	ページ	意見の内容	対応等
			<p>(新) 道内における歯科医師養成大学や関係団体等と連携を図りながら、引き続き歯科医師の確保が困難な離島における歯科医療の確保に努め、へき地等に対する安定的な歯科保健医療の提供体制の構築に向け検討を進めるとともに、歯科医療従事者の資質向上の取組を推進してまいります。</p> <p>地域における歯科保健医療の確保を図るため、歯科衛生士の知識・技術の向上のための研修会や復職支援に向けた実態把握を行うなど、より一層の偏在解消に努めます。</p>
5	2	急性期医療を担う医療機関がない二次医療圏が複数あります。距離の問題があり、二次医療圏の統廃合で済む話ではないと思っています。	<p>現在、脳卒中の急性期医療を担う医療機関は、二次医療圏別では15圏域となっています。隣接する圏域等、圏域を越えた地域医療連携体制の充実について、次期計画の策定に併せて検討を進めてまいります。</p>

#### 【協議結果及び今後の対応】

全ての委員から同意を得られたので、原案どおり進めることとする。

なお、「令和3年度北海道地域医療介護総合確保基金事業（医療分）の事後評価」及び「北海道医療計画の推進状況及び評価等」は、委員の指摘を踏まえ、一部修正する。